

2015年8月5日

第83号

発行：日本臨床検査技師連盟  
発行責任者：宮島喜文  
編集担当者：楢山広美

日本臨床検査技師連盟ニュース

◆◆ 連盟ニュース ◆◆

今号の主な内容

◇安田守 京都府向日市長  
当選就任祝賀会開催を開  
催して  
◇支部日より

## 臨床検査技師

## 安田守 京都府向日市長当選就任祝賀会開催を開催して

平成27年4月26日に投開票が行われた京都府向日市長選挙において、安田守氏が、対立候補に大差をもって当選されました。安田氏は臨床検査技師であり、15年間の病院勤務の後、政治の道に転身し、向日市議1期、京都府議2期を歴任されました。そして今回、臨床検査技師では初となる首長(市長)に就任されました。この当選の榮譽を称えるため、安田氏の地元京都にて臨床検査技師を中心に祝賀会を開催しました。祝賀会は発起人代表である宮島喜文技師連盟代表(日臨技会長)のご挨拶に始まり、乾杯ご発声は日本衛生検所協会近畿支部長の広田周一様、ご祝辞は日本臨床検査専門医会会長の佐守友博様、(株)いかがく代表取締役社長久川芳三様、技師連名今井秀一京都府支部長より頂戴いたしました。

そして技師連盟楢山広美副代表からの花束贈呈に続いての安田氏のご挨拶では、「臨床検査技師さんは真面目な人が多い、でも真面目なだけではダメなのです。患者さんのために日々努力していることを、もっと、もっと世の中に発信するべきだ！そのためには政治の力も必要なのです！」と力のかもったメッセージをいただきました。最後に技師連盟運天政五郎副代表に中締め言葉をいただき、お開きとなりました。

平成27年7月3日 於：ホテル京阪京都

小澤優(日臨技理事・京臨技副会長)


<http://www.city.muko.kyoto.jp/shicho/shicho.html>

(向日市「市長の部屋」アドレス)

## 《《支部だより》》

今回は、活発に連盟活動を行っている岡山県臨床検査技師会の紹介です。全国の支部長のみなさん、そして会員のみなさんへ、活動の参考になれば幸いです。

岡山県での連盟活動についてご紹介させていただきます。平成17年臨検法の法改正にご尽力いただいた故・橋本龍太郎、故・熊代昭彦両議員が岡山県選出衆議院議員でしたので、岡臨技は当時から選挙活動に関わってきた経緯があります。事務所開きや決起集会はもとより、ピラ配りから電話作戦まで様々な活動をしてきました。その事もあって現在に至るまで自民党議員関係の集会には可能な限りの出席をしております。一昨年前の参議院選挙では、岡山1区選出衆議院議員事務所の指導を仰ぎ、自民党県連本部事務所へのご挨拶から始まり、何処で、どなたに、どの順番でご挨拶をするのかまで詳細に教えていただき、指示通りに活動していきました。

連盟役員に課せられた任務は大きく2つあると思います。

1. 臨床検査技師に連盟(政治活動)の重要性を理解していただく事

2. 地元選出の議員と親交を持ち、臨床検査技師の現状や活動を知っていただく事

1に関しまして:総会の際、一旦総会を閉会した後毎回連盟報告をしてきました。昨年からはスライドを使って、政治活動とは無縁だと思っている会員の方々への啓発を行っています。「業務独占がない現状がこのままでいいのか?そこを動かすためには政治力が必要である事、自分達で動かなくてはならない事」を述べております。その後、場外で加入を募りまして、数十口の加入を得ました。

2に関しまして:地元議員が同級生だとか知り合いの方を糸口として進んで行きました。幸いに、議員関係の方々とお話している臨床検査技師がおりましたので、そこを糸口にして衆参両議員・県・市・町村議会議員などに広げていきました。各県の役員・会員の方のお知り合いやお友達に議員さんはいら

っしゃいませんか?加えて、どの県にも医療福祉関係に特化して活動されている議員さんがおられると思います。その方にこちらから接触していく事も良策かと思います。議員さんも医療業種の情報を得たいと思っておられます。臨床検査技師を知っていたく事、状況を知っていただく事から始めましょう。

臨床検査技師と政治が無関係と思っている会員の方々、少しだけ興味を持っていただき自分達のおかれている現状を考えていただきたいと切に願っております。

個々の業務を臨床検査技師の業績としてまとめていくのは日臨技、その業績をもって法改正を政治の舞台に届けるのは日臨技連盟、法改正をその舞台で演じてくれるのは政治家です。日臨技と日臨技連盟は表裏一体で活動していかななくてはなりません。

先人の築いてこられた土台を元に、政治との良好な関係を更に構築していこうと思っております。

岡山県連盟支部長

連盟常任執行委員中四国ブロック長

岡本 由美

